

臨床のヒント ～訪問診療～

# HDC ニュースレター

稲月 常貴和@千葉県

2023年1月号

NO 002



## 短時間でクラスプ修理・増歯行う方法

### はじめに

歯科訪問診療において、臨床現場の時間が十分に取れない場合や、義歯の預かりが出来ない場面、そして指示が入りにくい患者や長時間の開口が出来ないケースによく遭遇します。今回はクラスプ修理で私が良く使う方法を紹介します。

一見、学校で学ぶ補綴のセオリーとは異なるかもしれませんが、実際に訪問診療現場では、この方法に随分助けられています。

## 短時間でクラスプ修理・増歯を行う方法

訪問診療において義歯が使用できなくなる理由として、義歯破折・不適合・鉤歯の喪失などが挙げられます。その中の、クラスプ修理・増歯を比較的短時間でズレが起こりにくくする方法をご紹介します。

### 治療の流れ（クラスプ修理）

クラスプ破折修理のケースを報告致します。

まずクラスプ脚部が結合する床の下部、近心面又は口蓋側面のスペース部分を削合します。長さは13mm以上あると破損し難いと思います。深さは粘膜に貫通しない程度で深めに削ります。

この時、補強線などが邪魔をして深く削れない場合は無理して進めず、出来る範囲で問題ありません。のちに舌側面又は口蓋側面に多めにレジンを盛ることでカバーできます。

まずクラスプの床結合部のスペースを削合



その後、義歯を入れた状態で『取り込み印象』を行います。対合歯が義歯で後日調整が可能な場合や、明らかにクラスプに当たらない場合などは、対合歯や咬合採得（バイト）が無くても作成可能です。

取り込み印象後に削合部を水硬性セメントで仮封



削合したスペースはクラスプが完成するまで強度が落ち、舌感も悪いため水硬性セメント（キャビトン）で封鎖して流水下で硬化させてから、患者さんにお返しします。

取り込み印象に合わせて技工所がクラスプ作成



当日はキャビトンを除去し、即時重合レジンを盛るだけで終了



技工所が作成したクラスプに『メタルプライマー』を塗布後、キャビトン部分を除去（私は削合します）し、即時重合レジンを盛り、1分経過して餅状になったら口腔内に試適します。口腔内で30秒、その後再度口腔外に出して、やや収縮熱が有ることを確認して、湯につけて硬化を早めます。

その後は口腔内に入れてズレが無い事を確認し、接合部の研磨を行い終了します。

クラスプの脚部が元々のスペースに合わせて作成されており、義歯床の無駄な削合部分が軽減されること、クラスプが安定しているためズレが生じ難いことも利点であり、研修医の先生でも簡単に修理が可能です。

## 治療の流れ（増歯とクラスプ修理）

さらに鉤歯が自然脱落やカリエスにより残根になり、クラスプ修理と増歯が必要なケースにおいても有効です。

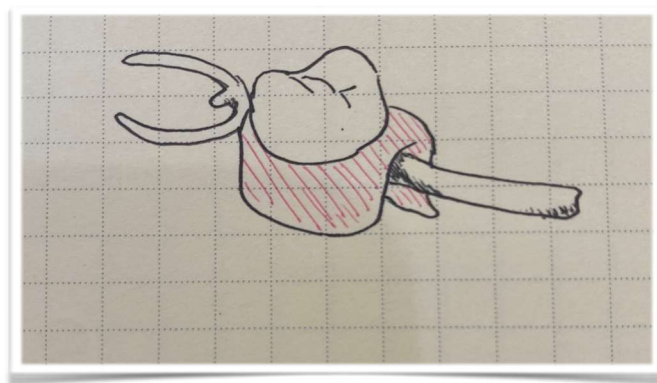
取り込み印象に合わせて技工所がクラスプと増歯を作成



当日はキャビトンを除去し、即時重合レジンを盛るだけで終了



手順はほぼ同じで、不要なクラスプを除去し対合歯と咬合採得を行い、技工指示書に『取り込み印象の床スペースにクラスプ脚部を合わせて、○番の歯にクラスプ作成。○番の歯に増歯および義歯に合わせて移行的に床の作成をお願いいたします。』と記載すれば良いのです。



そうすることで上図のような技工物を作成していただけるので、当日の手順はクラスプ修理と同じとなります。

はじめて依頼する技工所には、私は上図のようなイラスト付きで指示書を記載して依頼内容がよくわかるように配慮しています。このニュースレターを一度 技工士さんに見てもらい、このような指示書を出す場合がある事を事前に伝えておいても良いかもしれません。

## 治療の流れ（症例集）

### ① 増歯部位に補強線を挿入する場合



右下1番の歯冠破折にて増歯の例です。補強線を入れることで強度が向上するとともに、将来の隣接歯の破折時には口腔内修理も時短になると思います。

## ② 複数の増歯



歯科医師と技工士さんが直接話す機会はなかなか得られませんが、こちらの意図をしっかりと伝達したら技工士さんも、それに答えてくれ、ミスが少なく、患者さんにも利益のある治療の足掛かりになると思います。

学校では、このような修理方法は習いませんでした。しかしながら『[やってみたら案外よかった方法・裏技](#)』ほどの先生にも1つはあると思います。

これらの情報を共有する事は、自分が治療して幸せに出来る患者の人数よりも、沢山の先生が効率的な方法で患者さんを治療し幸せにした総合人数の方が多くなることは明らかです。

今後は是非、様々な先生方の裏技を本ニュースレターでご教授いただければ幸いです。

HDC institute of (社) 全国在宅療養支援  
歯科診療所連絡会 All Rights Reserved.

